

《第77回》令和元年八月の作品

（八月九日（金）於・文京シビックセンター15D）

風渡る小さき村の盆踊

（隆治）

夏深し芝刈りの刃の反射光

（孝昭）

原発を中止すべきや原爆忌

（平六）

じりじりと身の置き場なき熱帯夜

（貴美）

踊り果て闇に散りゆく女衆

（前歩）

門口を掃き整えて魂迎

（正佳）

五十万人長岡の夏ズンと音

（正雄）

炊き上がる飯に酢を打つ盛夏かな

（芙沙）

と見かう見土用蛭を購あがなへり

（清助）

安曇野の山々隠す夏霞

（奉男）

朝食の膳に添へたる花茗荷

（一江）